

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課
 担当名：体験活動・キャリア教育推進担当
 内線：6772 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B31	高校生体験活動総合推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費		
事業期間	平成19年度～平成28年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成		
					分野施策	020102	子どもたちの豊かな心の育成と非行防止・立ち直りの支援			
1 事業概要 多様な体験活動を通して、問題解決能力やコミュニケーション能力を身に付けさせるなど、調和のとれた豊かな人間性や社会性を育むことをねらいとして、高校生の体験活動を総合的に推進する。 (1) 魅力ある体験活動全校実施 612千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 魅力ある体験活動全校実施 8,062千円 (ア) 就業体験の推進 30校 1,032千円 推進校において年間事業計画に位置づけ、原則として5日程度または長期の就業体験を実施する。 (イ) ふれあい体験の推進 30校 2,050千円 幼稚園・保育所、福祉施設等において高校生に保育・介護体験を行わせることにより、子育ての意義や介護・福祉など少子高齢化社会に対する認識を深めさせる。また、これらの体験により豊かな人間性や社会性を身に付けさせる。 (ウ) 社会奉仕活動の推進 20校 1,130千円 生徒自らが社会奉仕活動を企画し、地域に働きかける活動を行うことを通し、社会の構成員としての自覚を高め、社会に貢献する態度や資質を養う。 (エ) 海外授業体験の推進 8校 2,400千円 海外の高校と連携し、授業、ホームステイや文化交流をとおり豊かな人間性を備えた国際人を育成する。 (オ) 生徒保険料等 1,450千円 体験活動実施中の事故に対しての賠償責任保険						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 生徒の豊かな人間性や社会性を育むために、様々な体験活動を充実することが急務であり、体験的な学習活動を計画的に推進する。各事業とも、対象校が年間の行事の中に位置付けて実施する。						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 本事業に参加した生徒は、体験活動を通して自らが高まったことを実感しており、どの活動でも効果があったと回答した割合は9割を超える。また、進路決定に際し、本事業の体験がきっかけになったという生徒がいるなど、効果が表れている。高校生に社会体験の機会を与える事業はこれから更に重要なものになっていくと思われる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円				(4) 補正予算の概要 ア 魅力ある体験活動全校実施：予算の節減による減額。						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	612							612	7,450	
現計額	8,062							8,062		